

普及現地情報

発信年月日:令和8年(2026年)2月16日

所属名:甲賀農産普及課

番号:C25017

発信者名:曾根、杉浦、池原、小林



甲賀地域青年農業者経営改善研究活動発表大会を開催！

2月4日、KokaCFA(甲賀地域青年農業者クラブ)が令和7年度青年農業者経営改善研究活動発表大会を開催しました。大会はKokaCFAクラブ員の他、指導農業士や関係機関の66名が参加しました。今年度は湖南市後継者倶楽部88が拍動かん水を利用した下田なす栽培の課題を、土山町農業後継者クラブが茶の春整枝方法による差異についての課題を、水口企業農業者クラブが水稻品種にじのきらめきについての課題をそれぞれ発表するとともに、青年農業者1名が意見発表を行いました。

経営改善研究活動に関して、当課では、各発表者の課題の掘り起こしから、計画の策定、発表練習まで総合的な支援を行ってきました。

当日の発表では、審査員や指導農業士から発表内容への質問や今後の取組、発表方法について、多くのアドバイスが出され、活気ある発表会となりました。

審査の結果、土山町農業後継者クラブが取り組まれた「『つゆひかり』の春整枝方法の違いが一番茶の生育・収量・品質におよぼす影響調査」が県大会での発表に選出されました。発表者からは、「今後も当テーマについての調査を続けていきたい。」との声が聞かれました。

当課では、今後も KokaCFA と連携し、経営改善研究活動の取組等、青年農業者の資質向上への支援を行っていきます。



発表の様子